

平成 24 年度「小規模特別養護老人ホーム昴」事業報告書

1 職員の配置状況

(当該年度 3月31日現在)

区 分 \ 職 名	施設長	管理者	介護支援専門員	生活相談員	医師	看護師	機能訓練指導員	介護職員	栄養士	事務員	環境整備員	合計
基準定数 ・・・①	1	1	1	1	(1)	1	1	9	1			16
正規職員の配置 ・・・②	1	0.9	0.1	1		1	1	17	0.5	0.5		22
正規職員以外の配置 ・・・③					(1)			6			2	8
現 員 計 ②+③=④	1	0.9	0.1	1	(1)	1	1	23	0.5	0.5	2	31

※ 基準定数は、人員に関する基準に基づき算定される員数を記入。

※ 嘱託医は、〔 〕内で記入。

2 利用者の状況

(当該年度 3月31日現在)

	男	女	計
入所者数	3人 (1人)	1人 (1人)	4人 (2人)
退所者数 (亡くなった方を含む)	1人 (1人)	3人 (1人)	4人 (2人)
年度末現在の入所者在籍数	11人 (0人)	18人 (0人)	29人 (0人)

() は、短期入所利用者数を示す。

3 利用者処遇の充実の状況

(1) ケアカンファレンス実施状況

(当該年度 3月31日現在)

会議名	開催回数		定例開催日	記録の有無	参加職種
	定例	臨時			
運営会議	12	1	第1水曜	㊟・無	施設長・管理者・各ユニットリーダー・看護師・栄養士・相談員(CM)
ケース会議	93	12	随時		居室担当またはユニットリーダー・看護師・栄養士・機能訓練指導員・相談員(CM)
入所判定会議	12	8	第1水曜		運営会議に同じ
職員全体会議	12	0	第3水曜		全職員

(2) 機能訓練実施状況

(当該年度 年間実績)

個別機能訓練

歩行訓練等(平行棒)：週1回実施 3名 週2回実施 1名
 歩行訓練(ユニット内)：毎日4名
 関節可動域訓練：週1～2回実施 5名
 下肢マッサージ等：週5回～毎日実施 3名
 嚥下機能訓練(嚥下マッサージ)：毎日実施2名

生活上機能訓練

作業レク(折り紙・塗り絵・カレンダー作り等)：月3回～随時
 トイレ内動作訓練(立位保持等)：毎日14名
 洗濯物たたみ・箱折等：毎日実施4名

その他 歯磨き・更衣等の日常生活関連動作の促し：毎日14名

(3) 虐待防止に向けた取り組みの状況

(当該年度 年間実績)

施設としてどのような体制(例：責任者の設置等)を整備しているか。

→苦情受付の担当者を定め、虐待(の疑い)があった場合には、口頭又は施設内に5か所の苦情受付箱を設置し投書ができるように体制を整えている。

施設としてどのような取り組み(例：研修の実施、掲示等)を行っているか。

→平成24年度、虐待防止の研修に参加し、研修報告の勉強会を開催するとともに、資料を回覧し、職員に注意喚起を行っている。利用者間の人間関係に留意している。苦情等の相談(虐待を含む)責任者を設置し、窓口等の案内を施設内に掲示している。

(4) 嘱託医師の回診の状況

(当該年度 年間実績)

週1回水曜日 12:30～14:30 に昂診療所にて嘱託医による往診を行なっている。
 往診内容：入所者様の診察、創処置、検査指示、薬の処方、入所者様およびご家族様への病状説明、診療相談・指導、主治医意見書作成、診療情報提供書作成、ワクチン予防接種など。往診日以外に入所者様の体調に変化があった場合は、看護師から嘱託医にすみやかに報告し、嘱託医の指示のもと対処している。

リスクマネジメント：誤薬防止について職員会議にて指導。多職種職員とともに対処策の見直しを実施。

(5) 食事の状況

(当該年度 年間実績)

食事時間

朝食 7:30～9:00 昼食 12:00～13:30 おやつ 15:00 夕食 17:30～19:00

食費

朝食、昼食、夕食 = 1,380 円 (減額有) おやつ = 50 円

食事形態 (在籍者数 平成 25 年 3 月 31 日現在 29 人)

常食	軟菜食	刻み食	ミキサー	ゼリー食	経管栄養
11人	8人	2人	5人	1人	2人

代替食

各入居者の好み等により個別に対応 (ごはん or パン食(朝食)、牛乳 or ヨーグルト、肉禁等)
 栄養年報 (平成 25 年 3 月 31 日現在) (※ゼリー食、経管栄養の方を除く)

	エネルギー	たんぱく質	脂質	カルシウム	食塩相当量
給与目標量	1,609Kcal	60.3 g	37.1 g	730 mg	9.0 g
給与栄養量	1,592Kcal	62.8 g	36.3 g	680 mg	9.6 g

(6) 入浴の状況

(当該年度 3 月 31 日現在)

区分 \ 入浴内容	一般浴	特別浴	リフト浴
利用 (入浴) 者数	610 人	968 人	1024 人
1 人あたり週回数	週 2 回	週 2 回	週 2 回
実施 (曜日)	(月～土曜日)	(月～土曜日)	(月～土曜日)
入浴時間帯	10 時 00 分 ～16 時 00 分	10 時 00 分 ～16 時 00 分	10 時 00 分 ～16 時 00 分
介護員数	1 人	2 人	1 人

(7) 身体拘束の有無

(当該年度 年間実績)

身体拘束の有無	記録の有無	同意の有無	理由
無	無	無	当該年度、身体拘束者該当者無し

(8) 行事・ボランティア活動

(当該年度 年間実績)

4月	お花見外出
8月	山二ツ諏訪神社大祭 昂納涼会（花火鑑賞会）
10月	敬老会
11月	紅葉ドライブ
12月	昭和の歌コンサート
1月	新年会 和太鼓演奏会

その他、ユニット毎の行事・レクリエーションや個別外出等あり。

(9) 防災訓練実施の状況

(当該年度 年間実績)

全職員に向けて担当区域毎に「火元責任者」を割り振り、毎月「火元責任者自主検査チェック表」のチェックを実施。9月・3月には「構造関係」「避難関係」「電気器具」のチェックを行っている。

また、別に設置している「防火担当責任者」には「防火担当責任者自主点検チェック表」に基づいての確認を指示・実施した。

避難訓練について、4月26日と9月28日に実施。9月の避難訓練は初めて夜間想定で行った。初めての夜間想定という事もあり、避難誘導に当たった職員同士の連携がうまく取れていない等、今後の課題も残った。今後も職員間の防災意識を高める働きかけをしていきたい。

(10) 運営推進会議の状況

(当該年度 年間実績)

開催日：2ヶ月に1回 第3水曜日 13:30～14:30

構成員：地域住民代表者（自治会長・山潟地区民生委員） 地域包括支援センター

御利用者様代表 御家族様代表

当該事業知見者 当該施設代表（施設長） 当該施設職員（介護支援専門員）

施設関係者（法人本部）

内 容：利用者状況報告（入退所状況・入所者変動・空所利用状況等）

事故報告・ひやりはっと件数報告・苦情相談内容報告

サービス活動状況報告・サービスへの要望及び助言

その他 前回懸案事項についての報告・回答

4 苦情解決体制の整備の状況

(1) 苦情解決の仕組みの周知方法の状況

(当該年度 年間実績)

利用者への周知方法	窓口等への提示	会報等への掲載	契約締結時の説明	その他
	① ・ 無	有 ・ ②	① ・ 無	
解決方法の公表方法	事業報告書への掲載		会報等への掲載	その他
	有 ・ ②		有 ・ ②	重要事項及び契約書に記載・施設内掲示

(2) 相談受付件数及び概要

(当該年度 年間実績)

相談件数 0 件

苦情件数 1 件

苦情内容：入居者ご家族様より、同ユニットに入居されている他入居者の動向について異様さを感じる。声を荒げている場面を何度か目にした。職員の対応もご機嫌取り、顔色を伺っているようで、その対応に時間をとられ、ユニット内の入居者への対応が疎かになると懸念がある。該当入居者と父親が生活をしていることに不安を感じ、それがとてもストレスとなっている。自分たち家族にも大きな影響を及ぼしている。職員も対応に疲弊しているように思われる。該当入居者の処遇についての検討と、終焉に向かう日々を「穏やかに生活できる環境」として取り戻していただき、安心して家族支援を行える状況にしてもらいたい。 (平成 24 年 5 月 27 日)

解決内容：平成24年6月30日 苦情解決に向けての話し合い（第三者委員立会い）
 平成24年7月21日 該当入居者夫婦の親族間（夫側実兄夫妻、奥様側義姉・姪）の顔合わせと状況報告を行い、今後の方向性について話し合う。該当利用者の他施設移行についても示唆する。
 平成24年8月25日 実娘様に連絡を取る（今までは音信不通）
 平成24年8月31日 該当入居者の状況を奥様側義姉、姪に実際に見て頂く。
 平成24年9月12日 該当入居者のご親族・実兄夫妻・実妹夫妻・娘様と該当入居者の他施設転居について話し合う。同意の元、サービス付高齢者専用住宅に申込みをする。
 平成24年9月23日 該当入居者ご本人に施設転居について話しをする。

- 平成24年9月30日 申込み先のサービス付高齢者住宅より、入居可との連絡をいただく。
- 平成24年10月4日 該当入居者、当施設退所となる。
- 平成24年10月10日 転居先施設に面会に行く。とても表情良く、疎遠になっていた娘様がよくしてくれると精神的にも落ち着かれ過ごされている。
- 平成24年10月21日 該当入居者夫妻の身元引受人について、親族間で話し合いを行う。両者の身元引受人に娘様になっていただくことで決定する。
- 平成24年11月10日 現在、特に問題なく過ごされている。
- 平成24年11月30日 苦情対応第三者委員に解決した旨の報告を行う。
該当入居者ご夫妻は別居となったがその後兩名落ち着かれています。申立て人ご家族も、安心された様子あり、面会を継続していただいている。

5 短期入所生活介護（空床型）事業の状況

（当該年度 年間実績）

短期入所生活介護（空床型）について

当施設は短期入所生活介護の申請をしている。特別養護老人ホームに入所されている方が、長期入院等、または退所した場合に長期に渡り空床が生じた場合に短期入所生活介護（ショートステイ）として要支援から要介護までの方に一定期間の間、施設サービスをご利用いただくことができる。

年間実績

前述、入院による空床期間や入所されるまでの空き期間で年間延べ 2 名の方が短期入所生活介護を利用される。

問題点

急な空床に伴うご利用者及び居宅支援事業所等への連絡やご案内をするも、期間限定での利用ため居宅支援事業者からの問合せに対し、利用期間が合わないためお断りさせていただく場合もあった。

対応策

新潟市内の送迎可能な地域の居宅支援事業所にファクシミリで空床の案内を連絡し、先方より問い合わせを頂き空床期間が少なく利用していただいた。

6 待機者の状況

(当該年度 3月31日現在)

介護度	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
人数(人)	2	10	14	10	5	41

*現在、新年度に向けて待機者の状態確認を実施中

7 職員の資質の向上等人材育成の状況

(1) 職員会議・委員会等の開催状況

(当該年度 年間実績)

会議名	開催回数		定例 開催日	記録の有無	参加職種
	定例	緊急			
運営会議	10	4	第一水曜	有・無	所長・管理者・看護師・ 栄養士・各UL
職員全体会議	10	1	第三水曜	有・無	全職員
ユニット会議	36	0	各委員会 定例日	有・無	各ユニット職員
各委員会会議	35	0	各委員会 定例日	有・無	委員会責任者・各委員長 各ユニット担当職員

(2) 職員研修の状況

(当該年度 年間実績)

	研修名	実施年 月日	対象者	参加 人員	内容
施設内研修	食中毒について・嘔吐物処理の復習	5.31 6.5	全職員		講義と演習
	胃瘻勉強会	5.23 5.24	全職員		講義
	リスクマネジメントについて学ぶ	10.2 10.5	全職員		講義と演習
	感染症防止について	11.6 11.20	全職員		講義
	事故に対する基本的な考え方	3.2 3.8	全職員		講義

施設外研修	安全衛生推進者養成講習	5. 10	施設経営者等	1	講義
	社会福祉主事スクーリング	6. 7	介護職員	1	講義
	防火管理講習会	6. 13	介護職員	1	講義
	社会福祉施設新任職員研修	6. 20 6. 21	介護職員	1	講義
	社会福祉施設新任職員研修	6. 27 6. 28	介護職員	1	講演
	社会福祉施設職員(接遇)研修	6. 29	介護職員	1	講義
	社会福祉施設新任職員研修	7. 4 7. 5	介護職員	1	講義
	施設ボランティア受け入れ担当研修	7. 25	介護職員	1	講義
	社会福祉施設運営管理者研修	7. 23	施設経営者等	1	講義
	24年度衛生管理指導会	7. 18	職員	1	講義
	社会福祉施設新任職員研修	7. 18 7. 19	介護職員	1	講義
	リスクマネジメント研修	8. 8	介護職員	1	講義
	社会福祉施設中堅基礎研修	8. 20 8. 21	介護職員	1	講義
	口腔ケア研修会	8. 29	介護職員	1	講義と講習
	社会福祉施設中堅基礎研修	8. 27 8. 28	介護職員	1	講義
	社会福祉施設中堅職員専門研修	9. 6 9. 7	介護職員	2	講義
	社会福祉施設指導的職員研修	10. 1 10. 2	介護職員	1	講義
	社会福祉施設長研修	11. 6	管理者	1	講義
	福祉サービスに関する苦情担当者研修	11. 29	職員	1	講義
	栄養管理指導研修会	9. 25	職員	1	講義
国際福祉機器展	9. 26	介護職員	1	講義	
社会福祉施設長研修	11. 6	管理者	1	講義	

キャリアアップ支援研修	11. 6	管理者	1	講義
褥瘡セミナー	11. 23	介護職員	2	講義と演習
特別養護老人ホーム経営セミナー	12. 9	管理者	1	講義
認知症介護実践研修総括講座	1. 28	介護職員	2	講義
これからの特別養護老人ホームにおける、看護リーダー育成研修	2. 4 2. 6	看護師	1	講義と演習
福祉マンパワー講習会	2. 18	介護職員	1	講義
新潟市医療介護施設連絡協議会研修会	2. 19	施設経営者等	1	講義
社会福祉施設関係職員研修会発表	2. 26	介護職員	1	講義
福祉職場定着促進実践事例研修会	2. 28	施設経営者等	2	講義
口腔トレーニング方法研修会	3. 4、5	介護職員	1	講義
定期巡回随時対応サービス復旧促進フォーラム	3. 5	施設経営者等	1	講義
新潟県在宅褥瘡セミナー	3. 16	看護師	2	講義
新潟県特別養護老人ホーム施設職員研修会	3. 21	職員	1	総会・研修会

8 建物・設備等の保守点検の状況

(1) 危険な欠損、損傷個所の状況

(当該年度 3月31日現在)

危険箇所	具体的な状況	今後の対応
特殊浴槽の気泡装置のカバー	気泡装置のカバーに、亀裂等の破損が見つかり、正常な機能の低下、破片等の危険性が生じる。	購入業者に依頼し、新しいカバーを購入し対応する。
施設内エレベーター	施設内エレベーターの、非常用電源用バッテリーの消耗による、有事における、昇降機能維持が出来ない恐れが生じられる。	整備点検業者に、バッテリーの交換工事を行ってもらい、今後も定期点検を行い、早期対応する。